

# Kenren Kanon No.47

神奈川県  
合唱連盟  
機関情報誌

2004年秋号

発行:2004.10.20

## 第47回全日本おかあさんコーラス大会 全日本最大級行事 無事開催



大会ポスターは横須賀芸術劇場さんの力作

去る8月28日(土)、29日(日)の両日、横須賀芸術劇場で開催された「第47回全日本おかあさんコーラス大会」は台風の接近という生憎のコンディションの中、無事に行なわれました。神奈川県合唱連盟として近年では最大の事業でしたが、2年前からの周到な準備、当日スタッフの献身的な働きにより、立派にホストしての役割を果たすことが出来ました。

大会総括の田中実・県連事務局次長が手記を寄せてくださいましたので、舞台裏の一端をのぞいてみて下さい。

### 第27回 全日本おかあさんコーラス全国大会 奮戦記 大会統括 田中実

第27回全日本おかあさんコーラス全国大会が8月28(土)・29(日)の二日間に亘り、よこすか芸術劇場で開催されました。横須賀芸術劇場会館10周年記念事業としても行なわれ、(財)横須賀芸術文化財団のご協力を得て無事終了することができました。主管は、(社)全日本合唱連盟関東支部・神奈川県合唱連盟でした。

台風16号が九州の南海上で鹿児島上陸を覗っている最中の開催です。前日の27日(金)、大会本部では演奏当日に到着できない合唱団があつた場合の対策も視野に入れながら、不安を抱えての準備作業でしたが、幸いにも一日目の27団体と二日目の34団体全ての団体が遅れる事無く到着し、一堂ほっと胸をなでおろしました。

小田原少年少女合唱隊のステージいっぱいの華やかな振袖姿と「あてもやん」で始まった素敵な演奏で幕を開けたおかあさんコーラス全国大会。

選考委員に、飯倉貞子(合唱指揮者)・岡村喬雄(声楽家)・鈴木憲夫(作曲家)・村田さち子(詩人)・吉森章夫(合唱指揮者)の5名の先生を迎え、子どもたちの演奏に續いては、恒例になつた合唱団自身の15秒スピーチを織り交ぜながらのプラカード入場行進。本番のステージ衣装で、息の合つた2人あり、息のはずれた2人あり、意表を突いたパフォーマンスあり、郷土色いっぱいのスピーチありで、朝から満席の客席にはこれから始まる演奏への期待に膨らんだ拍手が広がりました。

司会の永井邦子さんによる、快いテンポの紹介に乗せてのステージ。まず衣装の素晴らしさに目をみはります。選曲に合わせたドレスは勿論のこと、和服、郷土の衣装、早変わりのドレスに「オー」という歓声が上がり、時々見られるオーソドックスなドレスが新鮮に感じられました。宗教曲から、ポップス、童謡、民謡、日本歌曲までさまざまなジャンルの歌声が響き渡り、おかあさん達のバイタリティー溢れる行動力に感激しました。多様な個性を自由に表現できるこの大会は、コンクールとはひと味もふた味も違う感動を味わえるのです。



場内は満席



司会の永井さん

### 主な内容

- |          |                               |
|----------|-------------------------------|
| 特集       | ・第47回全日本おかあさんコーラス大会報告         |
| 報告       | ・第47回合唱祭開催 / ①合唱コンクール開催       |
| 随时企画     | ・特派員報告=桑原ルポ / ②新任理事紹介 Vol. II |
| コラム      | ・合唱と私=門井淑治さん                  |
| コンサートガイド |                               |
| 卷末特集     | 「世界合唱シンポジウム」                  |

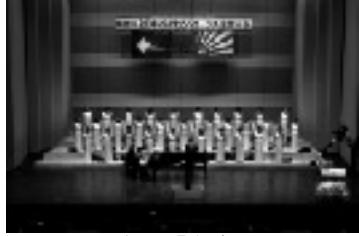
諸般の事情により発行が  
遅れましたことをお詫び  
いたします。  
カノン担当 鈴木章司

**大会を彩った  
澁刺男声合唱  
可憐女声浴衣**

一日目の最後のステージを飾ったのは、川崎F & Fシンガーズの男声合唱の招待演奏でした。重厚な男声合唱特有のハーモニーのあとは、3分間クッキングであなじみの「チャカ・チャッチャッチャッチャッチャッ・チャー」にあわせて、協賛を頂いているキューピー・マヨネーズたっぷりのサラダをステージの上でいただき、最後は「人生楽ありや、苦もあるさ」の水戸黄門テーマソングに、会場内は爆笑の渦と大喝采の拍手。無事大会一日目の全ての演奏を終了しました。ひまわり賞に輝いた合唱団は、2日間で20団体でしたが、出演された全ての団体がこの大会で歌えることの歓びを、この芸術劇場大ホールの素晴らしい空間に広がる歌声を楽しんでいたように思われます。



舞台を包み込むような本格的  
歐洲スタイルのオペラハウス



ひまわり賞の「湘南はまゆう」

恒例となっている一日目夜の「ザ・パーティー」には、会場の定員550名を遥かに上回る申し込みを頂いた為、多くの方々に参加のお断りをし、ご迷惑をおかけしましたが、会場は超満員。料理は、人数に見合っただけ用意しましたが、それを取りに行くのが一苦労でした。しかし、あかあさん達のバイタリティー溢れる行動力が、ここでも遺憾なく発揮されました！

フルートとピアノが奏でる「花のまち」の調べでスタートした『ザ・パーティー「夏祭りだよ！楽しい神奈川・明るい神奈川』』神奈川県の実行委員は、ゆかた姿で皆さんを出迎えました。何故か参加者の首には50円玉の首飾りが一つ。あかあさん達のあなたも満たされて来たところで、神奈川県ゆかりの歌をフルートとピアノの伴奏で大合唱。そして、今回のパーティーの目玉企画「50円玉争奪ジャンケン大会」が始まりました。最後の一人になるまでジャンケンをして、相手の50円玉の束を勝ち取るという簡単なゲームです。



食事は十二分に用意した  
はずですが。。。



見事！サラダを完食  
声援に応える



黄門ソングで  
大喝采！

川Fのヨン様？



フルートと  
ピアノの生演奏

←勢ぞろいして歌う浴衣スタッフ

「さいしょはグー」の掛け声。  
1回戦から会場には「キャー」と  
「勝ったー」の悲鳴が響き渡り順  
調に回を重ねて行きました。準々  
決勝からはステージでジャンケンです。重そうに  
50円玉を首にかけた12名がステージに整列。  
勝利の2万数千円の賞金を勝ち取ったのは女声合  
唱団かがやきの青山さんでした。その賞金は世界  
合唱シンポジウムに募金してくださること、  
ありがとうございました。



岸全日本副理事長大興奮！惜しくも敗退(左から右へ連続写真)



手にした賞金が重そ  
うな優勝者・青山さん

←  
浴衣隊スタッフ記念撮影

パーティーの最後は川崎F & Fシンガーズの皆さんによる男声合唱。最後の最後は会場の男声もステージに上がっての「いざ起て戦人よ」で締めくくりました。（後日談。募金して頂いた50円玉の紐を取るのが一苦労。理事長が「私にまかせて」の一言。ハサミを片手に悪戦苦闘。ご苦労様でした。）

翌朝、動きの遅い台風16号はまだ九州の南海上を鹿児島に向けて北上中。九州、中国、四国方面合唱団の帰りの交通機関が心配される中、横須賀も雨が降ったりやんだりのぐずついた空模様。そんな天気をものとせず、横須賀芸術劇場の大ホールは、全国からやって来られた合唱団の皆さん的情熱と、朝から満席となったお客様の熱気で溢っていました。



雨の中開場の数時間前から  
長蛇の列



ひまわり賞の  
「フラウエンコア・ウォンネ」

二日目のオープニング招待演奏は、横須賀芸術劇場合唱団少年少女合唱隊によるヴィヴァルディの「グローリア」。昨日より7団体多い34団体の演奏が始まりました。出演団体と一緒に誘導経路を歩いてみると、赤や緑のテープが延々と張ってありました。リハーサル室、舞台下手とか、それをたどって行けば目的地にたどり着く事になっています。この劇場は高いビルになっていて移動中に迷子になり易いので苦肉の策です。ちなみに

このテープは、実行委員でもあり、かつ二つの神奈川代表の合唱団を指揮した松村努理事が精魂込めて張ったもので、途中幾つかの箇所には綺麗な文字まで書かれていました。本人曰く「上出来！」迷子の合唱団は一つも出ませんでした。

今大会の最後のステージは、神奈川を代表する混声合唱団「マルベリー・チェンバークワイア」の招待演奏。指揮は今大会実行委員長の桑原妙子理事長。最後を飾るにふさわしく素晴らしい演奏で、割れんばかりの惜しみない拍手が響き渡りました。

来年の大会は異国情緒豊かな長崎です。クロージングの引継ぎでは、長崎県合唱連盟からの視察団の皆さんと、チャイナドレスや中国風の帽子をかぶって登場し拍手喝采。引継ぎの証に県連から「かもめのモビール」を贈り（去年はびわ湖でしたので私たち神奈川の視察団は信楽焼きのたぬきをいただきました。）、お土産には横須賀海軍カレーと横浜名物崎陽軒のシュウマイ付き。来年も楽しい大会になること間違ひなしです。



ひまわり賞の座間女声合唱団



引継ぎでかもめを紹介する理事長。。。分かりますか？



審査員の飯倉、岡村、鈴木、村田、吉森各氏

終演。台風の動きを心配しながら、会場を後にするお客様と、合唱団の皆さんをお見送りしました。（実際、九州・四国・中国地方への足は、既に寸断されており、合唱団・視察団の方々も帰宅が水曜日になったというお話を聞きました。）そんな中で皆さんを「今日の日はさようなら」のコーラスが見送り、大好評でした。即席の合唱団名は「ユードーズ（誘導ズ）」。誘導係りのスタッフが本業？の「うた」で魅せてくれました。来年の合唱祭デビューのうわさも。。。

### 大会ミニデータ

出演団体：28日(土) 27団体( 937名)  
29日(日) 34団体(1084名)  
入場者数：28日(土) 2409名  
29日(日) 2466名

### 県内団体の表彰(2日間通しての出演順)

桐響会	おかあさんコーラス大会賞
フラウエンコア・ウォンネ	ひまわり賞
座間女声合唱団	ひまわり賞
女声合唱団「松」	おかあさんコーラス大会賞
湘南はまゆう	ひまわり賞

### 裏方エピソード

● 一日目は暑かったせいか、出演誘導経路に幾つか置いたウォーターサーバーが大好評で、大量に用意したお水が無くなってしまいました。そこで二日目に備えて、山のように買い込んだら今度は寒いぐらい。大量の不良在庫になってしまいます。幸い、神奈川県連の事務局員は水が大好き、1年かけて消費する予定です。

● 本番のステージ終了後、団員の一部がすぐに帰らなければいけない合唱団が出現。京浜急行の出発時間まで10分。舞台上手に荷物を用意、そのまま汐入駅に猛ダッシュ。平井事務局長が重い荷物を持って伴走し何とか間に合いましたが、着替えは新幹線の車内になってしまったそうです。

● 「出演の合唱団から聴きに来いと言われ、新幹線で来ましたがチケットは持っていない」と受付に。残念ながら当日券も開場前に完売し、勿論入場不可。別会場のモニターを見て帰っていました。来年はこのような人がいないように祈ります。

### 大会スナップ



全日本を支えるおやじ達もこの日はホストに徹していましたが最後は肩を組んで気勢を。。。合唱してました。



ザ・パーティーの進行役は県連広瀬さんと全日本事務局の梅田さんと県連の田中実統括



スタッフの笑顔は大評判！



スタッフT・シャツはお土産用に販売も



キューピーさんからのお土産はウチワ



一日の締めは会場全体で「夏の思い出」を合唱

## 桑原特派員報告

桑原理事長の夏はとにかく忙しい。全国、いや全世界をまたにかけて飛び回り、あちこちにお出かけになっている。ということで、どうせ行くのだったらと本誌特別派遣編集員を依頼(依頼料・原稿料無)したところ、タチドコロニ3本もレポートが出てまいりましたので紹介します。

## おかあさんカントート in あきた レポート

7月24日、25日の二日間、全日本合唱連盟主催の「おかあさんカントート in あきた」が秋田拠点センター「AL☆VE」で開催されました。

秋田駅から徒歩一分の会場は一週間前にオープンしたばかりでした。北海道、新潟、茨城、神奈川、静岡、滋賀、京都、岐阜、大阪、兵庫、和歌山、香川、山口、長崎、等の他に地元の秋田、青森、岩手、山形、宮城、福島、から約400名の参加がありました。私は前日に東京の津田ホールで本番があつたため遅刻して参加しましたが、まず初日の午前中は浅井敬壹、今井邦男、片山みゆき各講師により、希望合唱団の公開レッスンの形でコーラスクリニックが行われました。

午後は浅井教室=ふるさとの四季(源田俊一郎)、今井・佐竹教室=上を向いて歩こう(源田俊一郎)、片山教室=聞こえる(新実徳英)、桑原教室=麦藁帽子(萩原英彦・三善晃)の4教室で2時間30分のレッスンの後、きらめき広場でクリニック&セミナーコンサートが行われました。

## 全日本ジュニアコーラス フェスティバル2004

8月初めに江戸川総合文化センターで2日間開催され、初日は子どものためのアトリエが3人の講師のもとで行われました。シンガポールから参加して下さったジェニファー・タム先生は「中国の詩」といダブルコーラスを、松下耕先生は、ご自身の作品の「はるがきたから」を、私は三善先生の「風のとおりみち」を指導しました。昨年はアフリカ、ロシアの作品を取り上げたため「むずかしい」と敬遠されたようですが、今年はお二人の先生のアトリエが難しく感じられたようで、なんと私のアトリエは400名、ステージに乗り切れなくて2回に分けて演奏することになりました。例年のワンポイントアドバイス、指揮者と講師のミーティングはなくなり、成田和夫氏の「ひげゴリラと楽しく歌あう」というコーナーが、新しく始まりました。会場は笑い声に包まれて、私もタム先生や松浦ゆかり先生と歌ったり、手を叩き合ったり

夜は、おいしい食事+アトラクション+抽選、と賑やかにパーティが開かれ、受講生達は昼間の適度な緊張感と対照的にリラックス。日々に「楽しいですね」と交流の輪を広げていました。二日目は浅井・佐竹教室=上を向いて歩こう(源田俊一郎)、今井教室=明日のりんご(高嶋みどり)、片山教室=グレゴリオ聖歌、桑原教室=フランスの宗教作品(サンサンス・フランク・フォーレ)の4教室で、それぞれ5時間ずつレッスンの後、初日同様クロージングコンサートで成果を発表しました。佐竹教室は振り付け付きで、初日は歌唱指導した今井先生がフランクシナトラばりのハンティング姿で踊りの輪に加わりヤンヤの喝采を浴びていました。

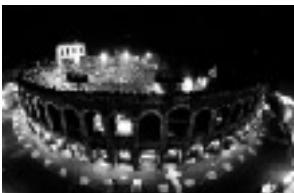
会場は建物の中央が吹き抜けになっていて各教室の歌声が高い天井に良く響きました。互いに初めて顔を合わせた受講生同志が声と心を寄せ合い真摯に音楽を学び、真剣に集中し、体全体で音楽を楽しむ姿は、大変すがすがしく純粋で気持ちの良いものでした。パーティ会場、演奏会会場で世界合唱シンポジウムの寄付の箱があり、6万円以上集まつたようです。全日本理事長の吉村先生、京都府合唱連盟理事長の浅井先生から「是非来年はシンポジウムで会いましょう」というメッセージの後「また一緒に歌いましょうね」と別れを惜しみました。



楽しく過ごしました。二日目は21の合唱団が個々の演奏をしました。初日の朝4時に出てきた合唱団、前の日から東京に宿泊した合唱団、終わったらディズニーランドに行く合唱団等様々でした。今年は神奈川県の合唱団は参加のワクを貰えない年で、神奈川サウンドを聞けないのがチョット残念でした。今年から「あおぞら賞」「そよかぜ賞」はなくなりました。「あおぞら」も「そよかぜ」も自然の中では気持ちの良いのですが、フェスティバルの中では「あおぞら」でなかった、と言って、泣いてしまう子どももいる、ということで全参加団体にフェスティバル賞が送られることになりました。子どもの声帯に不釣合いな発声の合唱団が多いこと(これはNHKコンクールの神奈川大会でも感じました)選曲が限られていること等、大人の責任が原因と思われる部分を強く感じました。

子どもは無限の可能性を持っています。ひたむきな音楽への憧れを引き出すこと、大人になってもズット音楽大好き人間でいられるように育てること等、大人はもっと真剣に考えるべきだと、真剣に感じた二日間でした。

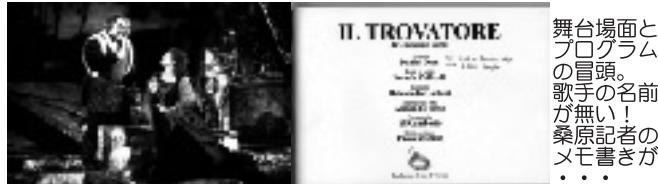
## ヴェローナ野外オペラ見聞録



古代の格闘場跡がオペラ劇場に！

8月初めにヴェローナで「イル・トロヴァトーレ」を聞いて、見てきました。イタリア北部のヴェローナは、ローマ時代に栄えた都市で、音楽史上重要な意味を持つ遺跡が2つあります。その1つのアレーナは1世紀に建設された最も古く、最大の古代ローマの劇場遺跡です。収容人員は25,000人、140メートル×120メートルという広さにまず圧倒されます。1913年から毎年開催されている音楽祭は野外オペラ、バレエ、演劇、コンサートと野外劇場ならではのスケールの大きさを十分に活かして、多くの人々を魅了しています。

劇場周辺のレストランでは、正装した人々が食事を楽しみながら音楽談義に花を咲かせ、会場の1、2列目ではワインを片手にオーケストラのメンバーと語り合う地元の名士と思われる人々が、今や遅しと開演を待っています。ステージの左右には大きな銅像が置かれ、舞台装置の雄大さも野外ならではの、スケールの大きさを感じさせました。こんなに広い、反響版も天井もない状況で、果たして声はどのように響くのだろう？と思っていましたが、いざ演奏が始まると、その自然で柔らかな歌声はどこまでも広がっていました。特にPPの美しさは夜空に吸い込まれるようで、どれだけ発声の基礎が身についているか、夫々の演奏者が役になりきっているか、が痛いほど伝わり、心を揺さぶりました。本物の馬がステージを駆け抜け、200人はいるかと思われる合唱団も、人数を感じさせず、照明の効果を考慮した衣装、ズば抜けた演出と全てが結集して、夢のような夏の一夜を作り上げていました。見ていても十分楽しく、その上に、レベルの高い音楽も楽しめるという素晴らしいひとときを過ごしました。



ソリストの名前がプログラムにないのはなぜ？と唯一不思議に感じました。と同時に指揮者、演出家、衣装担当、合唱指揮者、照明家の名前は大きくシッカリ書かれていて、日本とはこういうところも違うんだと思いました。ちなみに後でインターネットで検索した結果、主役の女声陣はアメリカの新鋭でした。最近の経済成長の影響で街中では大勢の中国人を見かけました。でもオペラ劇場ではアジア人は、ほんの僅かでした。「夏に、どこかに行こうかな？」と思われたら、是非一度ヴェローナへいらっしゃったら如何でしょう。大満足なさること請け合いです。

## 第47回神奈川県合唱祭報告

### 『今年も色々あった合唱祭』

合唱祭実行委員長 田中 実

いつもの音楽堂で、第47回合唱祭が6月12・13・26・27日の4日間に亘って開催されました。今年は、皆さんに要項を発送した後に参加料の変更があったり、プログラムが足らなくなったり、骨折者が出ていたり、イエローカードを間違えて出したりと、皆様にはご迷惑をおかけしました。本当に申し訳ございませんでした。

参加団体は184団体、参加人数も4,400人を超え、年々規模が大きくなっています。実行委員会では、皆さんにこの音楽堂に足を運んで良かった、楽しかったと思えるよう、色々なイベントを企画しながら運営をしてあります。今年、行なったイベントの中から幾つかを紹介いたします。

#### ●コスチュームファッションショー

昨年お休みしていた、ユニチカ通商協賛のファッションショーが復活しました。第一日目12日（土）のお昼休みです。モデルは、皆さんの合唱団から募集したスーパーモデル30名です。ショーの中ほどでは、ほどがや少年少女の女の子の歌と踊りも織り交ぜての20分の舞台です。来年も行なう予定です。モデルの募集も行ないますので奮ってご参加ください。

#### ●アルモ・サクソフォン・クアルテット

魅惑のサウンドが再び登場しました。昨年、ガーシュインの「ラプソディ イン ブルー」で会場を魅了したサクソフォン・クアルテットです。13日（日）の午後、満員の客席には、ウエストサイド物語「アメリカ」が会場いっぱいに響きたり、最後は「アヴェ・ヴェルム・コルプス」をサクソフォンの調べにのって全員で合唱しました。来年のこのステージには「ハンドベル」の美しい音色をお届けする予定です。どうぞご期待ください。

#### ●リージーズ（理事ズ）

指揮者ではないただの団員が、理事長・副理事長を従えての合唱団です。今年は、洋光台混声合唱団の鈴木章司理事が、混声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」で挑戦です。昨年の私田中同様、指揮法のレッスンに通つての本番は拍手喝采でした。雨の中、何度も練習に参加していただいた理事の皆さんご苦労様でした。来年の指揮者は日立コール・システムプラザの田中勝理事の予定です。お楽しみに。

#### ●公開レッスン

27日（日）に行なわれた、菅野正美先生による公開レッスンには、北鎌倉女子学園コーラス部と、このコーナーに一般の団体から始めて参加した横浜ルミナスコールの2団体が舞台に上がりました。どちらの合唱団も朝日のコンクールの課題曲でレッスンを受けました。1団体20分の時間をはるかにオーバーし、熱のこもった指導が続き

ました。菅野先生の昼食時間がなくなるくらいでした。来年も参加をお待ちしております。

#### ●作曲家コーナー・木下牧子

作曲家コーナーが復活しました。26日(土)講師にお呼びした木下先生にワンポイントアドバイスを頂きながら5団体、最後の湘南コロ・ステラは木下先生のレッスンを受けながらの演奏でした。来年の作曲家コーナーは「信長貴富コーナー」です。

以上紹介したイベントのほかにも、中高合同合唱、ジュニア合同合唱、パフォーマンスコーナー同一指揮者コーナーなど、たくさんのイベントを企画いたしました。

来年の合唱祭の日程は、6月11日(土)・12日(日)・25日(土)・26日(日)の4日間の予定です。講師には、前半に大志万明子・清水雅彦・信長貴富、後半に岸信介・洲脇光一・宮寺勇の6名の先生方を予定しております。イベント等の詳しいご案内は、次号のカノンでご案内いたします。より多くの合唱団の参加をお待ちしております。

#### 合唱コンクール報告

## 開催日程と出演団体数

合唱コンクール実行委員会 鈴木章司

去る9月12日(土)に第47回神奈川県合唱コンクールが神奈川県立音楽堂で開催されました。

開催日程が一日に短縮されて以来、次第に出場団体の数が増えてくる中、昨年はNHKのコンクールと一部日程が重なってしまい変則的なコンサートになったことを踏まえての、今年の運営でした。

結果的に昨年よりも更に増えた団体数は、既に一日開催の限界に達していたと言わざるをえないほど全体的に予定した時間を大きくオーバーしての終演となり、参加者、見学の方などにご迷惑をお掛けすることとなりました。幸いにも、次回来年の開催には神奈川県立音楽堂のご協力で2日間開催のめどが立ち(既にお願いしていた審査員の方々の日程も奇跡的に調整が出来たので)、今年の苦い経験を生かして、更によりコンクールに出来ると思います。

参加して演奏する皆さんに気落ち良く歌い、気分良く帰宅してもらえるような、そんなコンクールでありたいと実行委員一同がんばっていきますのでよろしくお願ひします。

当日の審査結果は以下の通りです。

#### 中学混声

##### 金賞・県代表

- ・茅ヶ崎市立松林中学校合唱団
- ・横浜国立大学附属鎌倉中学校3年選択

銀賞/川崎市立白鳥中学校白鳥合唱団

銅賞/厚木市立睦合東中学校/横浜市立緑が丘中学校  
合唱部/厚木市立東名中学校

#### 中学同声

##### 金賞・県代表

- ・清泉女学院中学校

銀賞/大和市立つきみ野中学校/厚木市立相川中学校相川  
合唱団

#### 高校A

##### 金賞・県代表

- ・清泉女学院高等学校

・日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ

銀賞/桐光学園中学高等学校合唱部/慶應義塾湘南藤沢中高  
等学校合唱部/県立大船高校合唱部/県立秦野南が丘  
高等学校合唱部

銅賞/相洋高校コーラス部/県立大和高等学校コーラス部/  
県立相模大野高校混声合唱団/県立伊志田高等学校

#### 高校B

##### 金賞・県代表

- ・県立多摩高等学校合唱部=☆最優秀賞

・北鎌倉女子学園コーラス部

銀賞/県立弥栄東・西高校合同合唱団

銅賞/県立生田高校グリークラブ

#### 大学A

##### 金賞・県代表

銀賞/東海大学文化部連合会グリークラブ

銅賞/横浜市立大学混声合唱団

#### 職場

##### 金賞・県代表/日立コール・システム・プラザ

#### 一般A

##### 金賞・県代表

- ・合唱団リベルテ

・マルベリー・チャンバークワイア

・アンサンブル・ピノ

・ヴォーカルアンサンブル未生(Myuu)

・横浜室内合唱団「海~kai~」

銀賞/アプレドゥマン/かながわフリーダムシンガーズ

銅賞/ステラマリス/合唱団プレアンブルム/クール百音

賞無/男声合唱団「グリーンスリーブス」/Ensemble Harmonia  
りんごの木/横浜市立神奈川中学校OB合唱団/合唱団ヴァオック/T r i n i t y /フランススピーラ  
ンク合唱団

#### 一般B

##### 金賞・県代表

・女声合唱団藍の会

銀賞/小田原少年少女合唱隊/フラウエンコア・ウォンネ  
/横浜ルミナスコール

銅賞/女声合唱団環/コール・キリエ

(校名、団名等紙面の都合上一部割愛しています。)

#### コンクール進行についてお詫び

本年度のコンクールは昨年より更に参加団体が増え50団体となりましたので、当初から終了時間が遅くならないように実行委員会で検討を重ねてまいりました。

しかし全体の進行が遅れた上に審査・表彰状の準備等に大幅に時間がかかり、予定をはるかに過ぎる結果となりました。中・高部門はもとより参加合唱団の皆様に多大なご迷惑をお掛けいたしましたことを深くお詫び申し上げます。コンクール終了後、直ちに音楽堂に依頼し、来年は2日間の開催とし、本年の反省を活かすべく努力いたす所存です。皆様の変わらぬご協力をお願い申し上げ紙面を借りてお詫び申し上げます。

神奈川県合唱連盟理事長 桑原妙子

# 合唱講習会へのお誘い 『桑原理事長による1日講習会』

神奈川県合唱連盟理事長・桑原妙子先生による待望の講習会。午前中の「中高生の部」から午後の「一般の部」まで通して受講すれば“桑原マジック！”があなたの手に。。。奮ってご参加下さい。

日時：2005年1月30日(日)

会場：地球プラザホール

(JR根岸線・本郷台駅徒歩3分)

午前の部10時～12時30分

午後の部13時30分～16時

参加料：有料

テキスト持参

参加団体募集 !!

## コラム・シリーズ

### ～合唱とわたし～

湘南市民コール会長・藤沢市合唱連盟理事長

門井 淑治(かどいとしほる)さん

現在年間30回近い本番をこなすという、恐らく日本でもかなり忙しい合唱団ですが、先日もZ.メータの指揮で歌ったような幸せな活動をしている湘南市民コールでの私の歴史は、来年で30年になります。

私と合唱との出会いは、大田区立山王小学校のコーラス部でした。卒業の時、あなたは歌を続けなさいとコーラス部の先生に強く勧められたのですが、中高は合唱部もなく結局続けることはできませんでした。でも歌は大好きで、昭和48年武蔵工業大学に入学とともに、待ってましたとばかりにグリークラブに入りました。

入団の時、先輩にパートを聞かれ、低い方ですと答えたものの声を出してみるとどの先輩よりも高い声がでました。どうやら小学6年の時アルトにされたのは声変わりが始まっていたせいだとその時初めて気が付いたみたいです(まさにタイムスリップ!)。

武蔵工大グリーの当時の合唱指揮者は、石井康男先生で、鶴見大の女声合唱団と混声を組み、湘南市民コールの演奏した曲を、少しずつ歌っていました(当時石井先生は湘南市民コールの団内指揮者でもあったのです)。

大学一年の定期演奏会のメインステージは「ジーザス・クリスト・スーパー・スター」でした。ソロオーディションの時、幸いにも石井先生から「門井はどの役でも良いぞ」と言っていただき、主役のユダをやらせていただきました。実は、1年生ながら密かにソロを狙っていて、誰よりも早く暗譜していました。この頃から、褒められる度に人より練習しうまくなろうとしていたようです。

さて、転機がやってきたのは意外に早く、大学3年の時でした。茅ヶ崎でのグリーの合宿最終日に、湘南市民コールにいる先輩が尋ねてきて、今から練習に行かないかと誘われました。自宅は大森、週3日のグリーの練習に加え、藤沢での週2回の練習に通えるのかなと思いつつ、「今、何を歌っているのですか?」と聞くと「ヴエルディーのレクイエムだよ。福永陽一郎先生の指揮、東京都交響楽団で来月歌うんだよ」とのこと。思わず「いい、行きます!」と答えていました。イタリアーノかもしれない私は、最も好きな曲が、実は「ヴエルレク」だったのです。この時が「湘南市民コール」にとっても私にとっても幸せの始まりでした。

## 講習内容

### 午前・中高生対象

- ①モデル合唱団による合唱クリニック(2団体予定)  
※信長貴富編曲の花、故郷、この道、里の秋の中から1曲を選ぶ。以上4曲は6月の合唱祭で信長氏の指揮により合同演奏の予定。

- ②小田原少年少女合唱隊練習風景公開

- ③全体合唱

### 午後・一般対象

- ①モデル合唱団による合唱クリニック(2団体予定)  
※曲目指定無し

- ②マルベリー・チェンバークワイア練習風景公開

- ③全体合唱

☆クリニック希望合唱団は11月末までに県連事務局までお申し込み下さい。※なお希望団体多数の場合は実行委員会で選定させていただきます。

この年の「全日本合唱コンクール・全国大会(1975年・神戸大会)」で金賞受賞し、翌年神奈川文化賞を受賞。1979年には小澤征爾先生に見い出され先生の指揮で新日本フィルとドヴォルザーク「スタバト・マーテル」を初共演。1979年ヴァルナ(ブルガリア)国際合唱コンクールにて一般の部で第二位を受賞しNHKスタジオ101に出演。



以後、毎年定期演奏会を行いつつも、常任指揮者の関屋晋先生の指導を受けている東京の「松原混声合唱団」等とともに結成した「晋友会合唱団」としてオーケストラとの共演が主活動になってきました。「晋友会」の名前の由来は、カラヤンが育てたオーケストラ用アマチュア合唱団である「ウィーン楽友協会合唱団」に対し、小澤征爾が育てる関屋晋の合唱団である「晋友会」という意味があります。

1987年1月3日ウイーン楽友協会ホールでマーラーの交響曲第二番「復活」でウイーンデビュー、1988年、1989年の2年にわたりベルリンフィルに招かれ、小澤先生の指揮でオルフ「カルミナ・ブランナ」を歌い、日本でもペーター・シュライヤー指揮ゲバントハウス・バッハ管弦楽団で「マタイ受難曲」、メータ指揮ウイーンフィルでドビッシー「ダフニスとクロエ」など夢のような経験をさせてもらいました。

こういう活動を通して思うことは、合唱がいかに幅広いかということです。邦人の合唱曲はもちろんですが、オペラばかりでなく、クラシックのオーケストラ曲には合唱付の曲が非常に多く、中々演奏されなくとも名曲が一杯あります。昨年、指揮者の大野和士さんに次回共演の時用に「良い曲ない?」と聞いた時、ウォルトンの「ベルシャザールの饗宴」が良いよねとの話になりました。あまり日本では演奏されませんが、とてもリズミックで良い曲です。

もう一つは、日本で声楽を勉強する人に、もっと合唱を勉強して欲しいということです。私たちには、世界的な指揮者が、最も得意とする曲を教えてくれる訳です。小澤先生がマーラーはこう歌うんだよ、シュライヤーがバッハはこう考えていた、サバリッシュはドイツ音楽を、フルネはフランス音楽を教えてくれたのです。だから、引き出しが一杯できて、指揮者がこうして欲しいと言われても、引き出しを開けて、教わったことをすぐ出せるので信頼してもらえるのです。音楽学校だけでは、狭い世界に思えます。

いつの間にか紙面が一杯になってしまいました。またの機会にお会いしましょう。

## 理事会新メンバー紹介 Vol.II

### 「浜辺の歌」に感動して

婦人部理事・松林 直子  
女声合唱団

サークルディ・チャター)

わたしは、横須賀市久里浜にあります、女声合唱団サークルディ・チャター（木曜日のおしゃべり）で20余年お世話をっています。

佐賀県の嬉野温泉で育ち、私の合唱の経験は、小学校の時、NHKのスタジオで歌ったのがはじめてでした。それから中学校、高校とコーラス部はなく又、合唱指導をしてくださる先生にも、恵まれていなかつたと思ってあります。合唱の素晴らしさをしりませんでした。現在、県の合唱連盟で、県下の学校をまわり合唱の指導を先生方が、実践してあられるることは素晴らしい試みと思ってあります。

上京し、学生時代の時、混声合唱団の方とお友達になりました。たしか昭和女子大学の音楽堂に大学連盟の合唱を、聞きに行きました。その時、合唱のハーモニーのすばらしさに感動したこと�이今でも思い出されます。それからは、学生時代お金に余裕がありませんので、入場券が買えず入場無料を探しては、よく聞きに出かけました。そのころは、もっぱら聞くだけで、音楽の基礎もないで、皆様と一緒に歌えないと思ってありました。

結婚いたしまして、横須賀で暮らすようになり東京混声合唱団の演奏を聞く機会がありました。その演目には、「浜辺の歌」があり、その曲を聞きなせか昔、観た「二十四の瞳」の映画のシーンが思い出され、又、当時の私のまわりの色々の後景が思い出され、涙がとめどなく流れ、感動いたしました。まわりにも、涙してあられる方がいらっしゃいました。その時私も他の人には感動は与えられないけれども、自分が楽しく歌にひたればいいな、と思いチャターに入団し、現在にいたってあります。又、そのおかげで、県の合唱連の方達の指導のもと、微力ながら皆様のお役に立てばと思ってあります。どうぞよろしくお願ひいたします。

### 歌も酒も好き

一般部理事・室井 義広  
(横浜ルミナス・コール)

はじめまして、今回新たに理事になりました横浜ルミナス・コールの室井と申します。今回は自己紹介ということで、私と合唱のつながりを振り返ってみることにしました。

私が合唱に出会ったのは、確か小学校6年生の時だったと思います。臨時に合唱部を作つて地区的合唱コンクールに参加したのが始まりでした。音楽の時間に比較的声の大きい生徒が集められたような気がします。本郷台にあった県の警察学校のホールで南安雄さんの「日記のうた」を歌つたのを覚えています。

その後中学・高校時代は、合唱よりは運動に明け暮れる毎日で、再び合唱に触れたのは大学に入ってからでした。



大学に入学してサークルを探していた私は、「音楽がやりたいけど楽器はできないし…」という理由で合唱(混声合唱団)を選ぶことになりました。その時には小学校の頃のことは忘れていたのですが、潜在意識の中で合唱を追い求めていたのかもしれません。

学生時代には、もちろん歌も好きだったのでしようが、合唱団の仲間と過ごすことがとにかく楽しくてなりませんでした。練習は週に3日でしたが、ほぼ毎日・毎晩？集まつては誰かの下宿で酒を飲んでは、たわいのない話で盛り上がっていました。歌が好きなのか、仲間と飲むのが好きなのかよく分からぬうちに、いつの間にか合唱にのめり込んでいました。（この時の仲間とは未だに毎年のように集まつては旧交を温めています。）

大学では学部の4年間と大学院の2年間を合わせて6年間合唱中心の生活を送っていました。年1回の定期演奏会、サマーコンサート(夏の演奏旅行?)合唱コンクールさらには、新作の初演や委嘱初演、レコーディングなどとても濃い6年間でした。その時委嘱初演した青島広志作曲の「星からとどいた歌」の楽譜とCDに自分の名前が刻まれているのは大切な宝物になりました。

という訳で、そんな学生時代を終え今の合唱団に参加して早15年、最近歌うことの喜びがさらに大きくなってきたような気がします。これからも声の出る限り歌い続けて行きたいと思います。

とりとめのない話になってしましましたが、今後ともよろしくお願ひいたします。

今年度から新たに理事になった方は12名です。前回と今回で8名の方を紹介できましたが、あと4名の新理事がご紹介できません。次号以降に、随時ご紹介できると思いますので、楽しみにお待ち下さい。（新理事でカノン担当に原稿を出している方！お願いしますよ。）

### ちょっといい話～感激の父さんからのお手紙～

娘が中学一年で合唱を始め、私の県立音楽堂客席デビューは合唱祭でした。若かりし頃に吹奏楽を嗜んだ私は、楽器が奏でる感動とは全く違う感動に出会いました。それから、娘の合唱部の“追っかけ”がスタートです。中一では前橋に、中二では浦和に、そしてこの度新潟まで“追っかけ”できました。我が娘の三年間の成長に、最後のコンクールではそっと涙してしまいました。合唱する笑顔や仕草、どの方もとても素敵です。歌いきった満足な表情や、コンクールまでの悲喜。まったくまったく感動です。

私にとって最後の“追っかけ”になりました今回の新潟県民会館に於いての関東大会。残念ながら中学生混声の部しか聴くことが出来ませんでしたが、どの学校も最高の合唱でした。本人曰く「今まで最高の歌が歌えた。声が少し弱いかもしれないけれど、楽譜には忠実だった。」歌い終えて直の感想でした。

言葉では言い尽くすことが出来ないほど三年間お世話をになりました。私も趣味の範囲で音楽に携わってみたりなりました。子どもとともに成長させていただきました。楽しい季節を子どもとともに過ごさせていただきました。夏の疲れが出る时节です。十分御身体にはご自愛ください。

神奈川県合唱連盟加盟団体

# コンサートガイド

2004年11月~



☆9月10日までに編集室へ  
お届けのあった分につい  
て掲載しました。

☆次回締め切りは12月10日。  
発行は1月20日の予定で  
す。

11  
月3日  
(水・祝)  
開演  
14:30

## 女声合唱団 サースデイ・チャター 第4回演奏会

- ◇「われもこう」新実徳英作曲
- ◇「ああさか風土記」岩河三郎作曲
- ◇ディズニー合唱曲集より 若松正司・若松歓編曲
- ◇四つの沖縄の歌より
- ◇OXFORD CAROLSより JOHN RUTTER作曲

指揮:清田泰昭

ピアノ・オルガン:宮里優子

会場:横須賀市はまゆう会館

入場料:1,000円(全席自由)

お問い合わせ:内田さん 046-844-2381 江原さん 046-834-6787

5日  
(金)  
開演  
19:00

## 横浜オラトリオ協会合唱団 第68回定期演奏会

- ◇アヴェ・マリア合唱曲集
- ◇「三つの優しき歌」立原道造作詞／新実徳英作曲
- ◇「クレド・ミサ」モーツアルト作曲

指揮:中村皇

ソプラノ:佐竹由美 アルト:阪口直子 テナー:大島博 ベース:田代和久

ピアノ:永川恵子

会場:神奈川県立音楽堂

入場料:1,500円

お問い合わせ:樋口さん 045-771-0961

6日  
(土)  
開演  
14:00

## 男声合唱団 横浜メールクワイア 第2回演奏会

- ◇男声合唱組曲「富士山」多田武彦作曲
- ◇「カリンカ」「黒いひとみ」「百万本のバラ」
- ◇「Imagine」「寿限無」「ふるさと」ほか

指揮:小林正明

会場:横浜みなとみらいホール小ホール

入場料:1,000円(全席自由)

お問い合わせ:うるし崎さん 045-823-9053

6日  
(土)  
開演  
18:00

## 混声合唱団小田原木曜会 第29回定期演奏会

- ◇混声合唱組曲「心像の海」村田さち子作詞／山本純ノ介作曲
- ◇混声のための合唱ファンタジー「みすずこの道」金子みすず作詩／鈴木憲夫作曲
- ◇「Missa Brevis」Knut Nystedt作曲
- ◇混声合唱組曲「よしい讃歌」畠美代他作詞／安藤由布樹作曲

指揮:辻志朗

ピアノ:近岡直人

会場:小田原市民会館大ホール

入場料:1,000円(全席自由)

お問い合わせ:吉田廣子さん 0465-22-6788

<b>11月</b>	<b>7日(日)開演 13:30</b>	<b>洋光台男声合唱団 第7回演奏会「心きらめき」</b> ◇男声合唱組曲「月下の一群」 堀口大学訳詩／南弘明作曲 ◇男声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」源田俊一郎編曲 ◇男声合唱組曲「心の四季」 吉野弘作詞／高田三郎作曲 他 指揮:川崎廣太郎 森孝夫 宮本益光 ピアノ:鈴木智香子 加藤昌則 バリトン:宮本益光 会場:神奈川県立音楽堂 入場料:1,000円 お問い合わせ:三上さん 045-832-7401
	<b>7日(日)開演 17:00</b>	<b>Gloria 一ヴィヴァルディのグロリアー グロリア少年合唱団演奏会</b> ◇グロリア ヴィヴァルディ作曲 ◇十字架上の七つの言葉 シュツツ作曲 ◇男声合唱とオルガンのためのミサ曲第2番 グノー作曲 他 指揮:松村 努 グロリア男声合唱団 グロリア室内オーケストラ オルガン:安原恵 ソプラノ:櫻井悦代 アルト:前田美樹 テノール:服部陽介・陣内俊生 バス:戸川博樹 会場:カトリック雪ノ下教会聖堂(JR鎌倉駅東口より徒歩7分) 入場料金/2,500円(全席自由) お問い合わせ:松村さん 045-825-0522
	<b>20日(土)開演 14:00</b>	<b>湘南混声合唱団 第3回コンサート</b> ◇五つのKyrie パレストリーナ、バード、カサリー、モーツアルト、グノー作曲 ◇混声合唱のための童謡メドレー「いつの日か」 源田俊一郎編曲 ◇ディズニー合唱曲集「星に願いを」 若松正司編曲 ◇混声合唱とピアノのための「花に寄せて」 星野富弘作詩／新実徳英作曲 指揮:伊集院俊光 ピアノ:水野玲子 会場:藤沢市民会館大ホール 入場料:1,000円 お問い合わせ:小竹美恵子さん 0466-45-4633(FAX共通) himeko@mbf.nifty.com
	<b>21日(日)開演 14:00</b>	<b>「吉田孝古磨合唱指揮活動50周年」記念イベント(パートII) マロ先生の"コンポジ(作曲)天国" 横浜混声合唱団 第14回オフオフ合唱コンサート</b> ◇『主題歌』たちのつぶやき「街はよみがえる」「風は虹色」他 ◇『校歌』と『こどものうた』「小・中・高5校の校歌作品」「赤とんぼに乗っかって」他 ◇合唱組曲「よこはま～人・街・未来」(混声版) 開港135年記念作詞公募作品 ◇『やなせたかし☆ばばさだあ』作詞コーナー 「雪が花びらのように」「秋のフルツ」他 指揮:吉田孝古磨 ピアノ:須江太郎・岩谷尚幸 賛助出演:横浜少年少女合唱団 友情出演:神奈川県庁合唱団・"横混"団友会「ザ・カップルズ」 会場:横浜市民文化会館関内ホール 入場料:2,000円 お問い合わせ:鎌田(かまだ)さん 045-314-5530
	<b>27日(土)開演 14:00</b>	<b>混声合唱団ハニカムズ 1st.コンサート</b> ◇混声合唱集「そのひとがうたうとき」 ◇混声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」 ◇ミュージカルメドレー「Rodgers and Hammerstein On Broadway」 ◇混声合唱のための「青の時代」 指揮:北出継哉 東宣二 ピアノ:金子杏奈 会場:鎌倉芸術館小ホール 入場無料(入場券必要) お問い合わせ:山本治子さん 045-881-9825

11  
月28日  
(日)  
開演  
14:00

## 神奈川大学混声合唱団クール・アンジェ 第16回定期演奏会

- ◇新実徳英シリーズ
  - ◇「ふるさとの四季」源田俊一郎編曲
  - ◇ディズニーメドレー
  - ◇混声合唱組曲「落葉松」小林秀雄作曲
- 指揮:瀬尾真理  
伴奏:森川由美子  
会場:神奈川公会堂

入場無料

お問い合わせ:岸洋子さん newangels@hotmail.com

12  
月4日  
(日)  
開演  
14:00

## 川崎混声合唱団 第39回定期演奏会

- ◇混声合唱組曲「風のいざない」蓮月マリ作詩／大中恩作曲
  - ◇混声のための合唱ファンタジー「みすずこの道」金子みすず作詩／鈴木憲夫作曲
  - ◇団員創作曲・4曲
  - ◇日本の歌・他
- 指揮:相原末治、 小笠原吉秀  
伴奏:遠藤有子  
会場:麻生文化センター大ホール

入場料:1,000円

お問い合わせ:田中実さん 044-333-0614

8日  
(水)  
開演  
18:45

## 上大岡混声合唱団 第38回定期演奏会

- ◇混声合唱のための「宮崎駿アニメ映画音楽集」より 信長貴富編曲
  - ◇五つの混声合唱曲「飛行機よ」寺山修司作詩／萩京子作曲
  - ◇「マニフィカート」ジョン・ラター作曲
- 指揮:中村皇 ピアノ:押川涼子  
会場:神奈川県立音楽堂

入場料:1,000円(全席自由)

お問い合わせ:小室良子さん 045-780-3736

高槻靖さん kami-kon@yahoo.co.jp

<http://www.geocities.co.jp/MusicHall-Horn/2745/>11日  
(土)  
開演  
14:00

## 横浜国立大学グリークラブOB合唱団 第6回定期演奏会

- ◇歌曲「La Serenata」「Segreto」「Aprile」他 トスティ作曲/飛永悠佑輝編曲
  - ◇田中清隆 グリーと共に50年 (パリトンソロと合唱)  
「レクイエム」第3樂章三木 稔作曲 他
  - ◇グリークラブ愛唱曲集 Deep River、Down In The Valley、婆やのお家 他
- 指揮:飛永悠佑輝 ピアノ:佐藤美保子 エレクトーン:海津幸子  
会場:ミューザ川崎シンフォニーホール  
入場料:A席 1,500円 B席 1,000円(全席指定)

お問い合わせ:吉原さん 044-522-3640(FAX共通)

19日  
(日)  
開演  
13:30

## 混声合唱団サタデーコール 第1回演奏会

- ◇世界のうた 「グレゴリオ聖歌」「夏は來たりぬ」「いとしのマドンナ」  
「野ばら」「ラシーヌ讃歌」
  - ◇日本のうた 「早春賦」「待ちぼうけ」「荒城の月」「箱根八里」「浜辺の歌」
  - ◇「戴冠式ミサ」 モーツアルト作曲
- 指揮:小川昌文  
ピアノ:伊藤希和  
会場:横浜市都築公会堂

入場無料

お問い合わせ:武田謙二 046-293-5909

# 卷末特集 第7回世界合唱シンポジウム京都大会へのお誘い・5

いよいよ開催まで1年を切ったシンポジウムですが、もう参加登録はお済ですか？毎回シンポジウムって何？という観点からご紹介を続けているこのページですが、今号からはシンポジウムの期間中来日する海外の合唱団について、公式ホームページの力をお借りしご案内します。

## カンティクム室内合唱団（オーストラリア）

エリック・エリクソンに師事した女性指揮者のエミリー・コックスにより1995年に結成された。自主運営のセミプロ級室内合唱団で、団員の年齢は18歳から50歳。ルネサンス期から現代にいたる幅広いレパートリーと斬新なプログラム構成を通じて、室内合唱という芸術様式の啓蒙に努めている。プロの芸術団体とも頻繁に共演しており、クイーンズランド・バレエ団、クイーンズランド管弦楽団やクイーンズランド青少年交響楽団とのコンサート、ブリスベン・フェスティバル、クイーンズランド音楽祭での演奏がある。98年の全豪合唱協会主催合唱フェスティバルでは招待演奏を披露した。

最終日(8/3)のアフタヌーンコンサートに登場予定

## カンタービレ・リンブルク（ドイツ）

メンバー18人の音楽のルーツは、1970年代はじめのリンブルク聖堂少年合唱団にさかのぼる。彼ら全員が音楽教育を受けた場所だ。そうした共通の音楽体験に加え、結成以来メンバーが変わっていないという貫性が、独特の「カンタービレ・サウンド」を作り上げる。レパートリーは古典的なポリフォニーからマドリガル、シューベルトからレーガーまでの口マン派の歌曲、現代曲、さらにはポップスやジャズなど、多種多様。男声合唱の有名小品を集めたCD「Manner gesang」が独Carusレーベルから発売されている。

指揮者のユルゲン・ファスベンダーは、数々の合唱団の指揮者として、様々な合唱組織の役員として活躍する、ドイツを代表する合唱指揮者の一人である。

8月2日のアフタヌーンコンサートに登場予定

## ナサニエル・デット・コラール（カナダ）

クラシックと黒人靈歌、ゴスペル、ジャズ、フォーク、ブルース等の音楽を専門として1998年に創設。メンバーはクラシック音楽の訓練を受けた21人の声楽家で、その活動は従来のクラシック音楽の室内合唱にとどまらず、あらゆるスタイル、ジャンルの音楽をこなす。創設者・芸術監督のブレナード・ブライテン＝テイラーは、アメリカの黒人作曲家・ピアニスト・指揮者のロバート・ナサニエル・デット（1882-1943）に影響を受け、アフリカを中心としたさまざまなスタイルの音楽の創作と演奏を取り組んでいる。

8月1日のアフタヌーンコンサートに登場予定

## 大会スローガン

人びとの歌 世界のうた 歌は人びとを結ぶ  
Cantus populi, cantus mundi. Cantus omnibus unus.

### 編集後記

発行まで2ヶ月もあると踏んでしまったのが祟ったのか、そもそも編集作業を発行前10日間で集中的にやろうとしているのが無謀なのが、肝心なときに体調を崩してしまい編集作業に入れないまま発行が遅れてしまいました。それでも内容はなかなか充実していると自賛しています。。。11月はじめには地域プロジェクトの一環で岐阜の中学校に取材に行きます。次号ではそのレポートも載せるつもりです。お楽しみに。すごく早いけど「よいお年を！！」

## 神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon（カノン）」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021

横浜市中区日本大通15 朝日会館ビル4F

045-681-6033 (FAXとも)

ホームページURL : <http://homepage2.nifty.com/kanagawakenren/>

eメールアドレス : kanagawakenren@nifty.com

## サンフランシスコ・ガールズ・コーラス

7歳から18歳までの少女を対象とした音楽教育と合唱訓練の地域センターとして1978年に創設。48都市から三百人以上が参加し、“少女たちの声を訓練する理想的な機関”として、その活動は高く評価されている。同合唱団の演奏は、サンフランシスコ交響楽団のレコードイング「ストラヴィンスキー作曲:ペルセフォネ」(グラミー賞受賞作)などで聴くことができる。また、サンフランシスコ・コンテンポラリー・ミュージック・プレイヤーズによってリリースされたCDも話題を呼んでいる。指揮者のスザン・マクメインは、セントルイス大学とノースダコタ大学で音楽を教ながら、同合唱団やセントルイス女声合唱団を指導。数々の賞を受賞し、合唱研究者・講師としても知られている。

最終日(8/3)のアフタヌーンコンサートに登場予定

## ステレンブーシュ大学合唱団（南アフリカ）

1936年に結成された。大学合唱団としては南アフリカ最古の歴史を持つと同時に、国内最高レベルの合唱団のひとつである。2003年から指揮者を務めるアンドレ・ヴァン・ダー・メルヴェは、ケープタウン大学で音楽学士号を目指した後、ステレンブーシュ大学で演劇学士号を修得し、演劇と合唱の2つの分野で多彩な活動を続けている。1997年にプロ・カントウ青少年合唱団を、99年にステレンベルク少女合唱団を結成。特にプロ・カントウは、02年7月、ウェールズのランゴレン開催の第56回国際吟遊詩人音楽祭で3部門を制したうえ、「世界最優秀合唱団」賞と、誰しも欲しがる「コンクール魂」(Spirit of the Competition)賞を受賞した。

8月2日のアフタヌーンコンサートに登場予定

## カルミナ・スロベニカ（スロベニア）

舞踊、戯曲などの舞台要素や、伝統楽器、テープによる音楽などを盛り込んだ新しいコンセプトのステージ・パフォーマンスが刺激的な合唱団。また、「平和のための音楽」というコンセプトのもと、スロベニアおよび世界の音楽遺産を通して平和を実現することを重要な目的のひとつにしている。1987年以降指揮者を務めるカルミナ・シレクは、ザグレブの音楽学校で学び16歳で指揮活動を開始した俊英。彼女はまた、カルミナ・スロベニカ合唱学校を運営し、合唱音楽の芸術顧問として講義を行なうなど後進の育成にも積極的である。

8月2日のイブニングコンサートに登場予定

## 「世界合唱シンポジウムのための10円募金について」

この世界合唱の祭典を成功させるために、「10円募金」という形で皆様にご協力をあ願いする次第です。どうぞご理解のほどお願い申しあげます。（社）全日本合唱連盟理事長 吉村信良

